

登別川（カルルス～オロフレ峠）沢登り

2017年7月23日（日）

CL小山内

風神班：L藤木晴、SL西田、酒井、水江、笹山、鈴木徳

雷神班：L山岸、SL相馬、近藤、佐藤尚、太田、川村

事前にオロフレトンネル内に車を3台配車し、サンライバスキー場駐車場を出発。8時、橋の横から林道に入る。25分ほど歩いて入溪。8時45分、C350を皮切りに、20分おきぐらいに次々と10mほどの砂防ダムが表れる。すべて右岸を高巻く。9時50分、C425二股は右へ入る。水量は左が多い。ここから沢相が一変する。それまで硫黄臭がする赤い川床だったのにそれがなくなり普通の沢になった。



右股に入ってもたて続けに大小の砂防ダムが続く。砂防ダムを左岸から乗り越え、降りようとした時、先頭を歩いていた藤木さんと二番目の笹山さんが蜂に刺される。早速救護係の太田さんの治療を受ける。幸い大事には至らな



かったようだ。このあたりで左岸に林道を発見し使わせてもらう。11時、C475あたりで右に2段の滝を見る。11時8分、C495二股。ここからは左右にいくつか支流が出てくるが、すべて本流を進む。小滝、中滝があり、すべて簡単に登ることができ、初心者が楽しめる

沢だ。次第に両岸が狭くなってくる。11時35分、C550二股。12時26分、C630二股、滝を登ったところで12時30分となる。ここで多数決が優先され昼食休憩。休憩後少し登ったところで右前方にトンネルが見

えてきた。壊れて骨組みがむき出しになった砂防ダムがいくつか出てきた。

13時55分、現在位置を確認しながら右の斜面にとりつく。急こう配だが草付きの斜面で藪漕ぎは全くない。ものの5分足らずで旧道についた。全員が揃うのを待ち、左に羅漢岩を見ながら5分も下るように歩いて14時15分、トンネルに到着した。



6時間の遡行だったが、近年の台風被害で荒れてしまった沢が多い中、変化にとんだ比較的にきれいな沢という印象だった。砂防ダムの多さは難点だったが近場ということもあり十分満足できる沢だった。リーダーに感謝。



文責：水江